

	入院したら(手術前日)	手術当日(手術前)	手術当日(手術後)	手術1日目	2日目
処置・検査	採血や検尿をします 体重や腹圍などの計測をします 静脈血栓予防のためのストッキングをはきます 赤ちゃんの心拍や陣痛の様子をみる装置をつけます	術衣に着替えます (上半身は裸の状態を着用してください)	血圧計などをしばらく身体に装着します おしっこの管が入っています 痛みのコントロールをするために、背中に管が入っています 足には静脈血栓予防の機器がついています	朝、採血があります ベッドから立ち上がる練習時に体重測定をします	朝食前に体重測定をします (退院日まで毎日です) 主治医の許可があれば、おしっこの管を抜きます
薬	持ってきたお薬があればお伝えください (使用中の医師の処方薬は必ずお持ちください)	点滴を行います	手術前から続けて点滴を行っています 抗生物質の点滴を行います	子宮収縮剤を内服し始めます 点滴を行います 抗生物質の点滴を行います 貧血の薬が処方される場合もあります	点滴を行います
*痛みのある際には早めにご相談ください。状況に合わせ、痛みのコントロールを行います					
食事	夕食を召し上がった後は、水分以外摂らないでください	朝食はできません 朝9時まで水分は摂ってもかまいません	許可があるまで水分を摂らないでください うがいはしてもかまいません	朝食からお食事が出ます(最初の食事は粥です。次のお食事からはご飯となります) 夕食時のおやつは、空腹時や夜食に食べてください(治療食の方はこの限りではありません)	
清潔		朝、シャワー浴ができます	定期的にパッド交換を行います (部屋に帰ってしばらくは頻回に行います)	定期的にパッド交換を行います 身体を拭いたり、陰部を洗浄します	
活動	基本的に制限はありません		個室のベッド上で過ごしていただきます 身体の向きを変えるなど、安楽な姿勢はとれますが、主治医の指示があるまで起き上がらないでください お部屋に戻り、6時間後くらいから少しずつベッドに角度をつけていくことができます	主治医の許可に沿って、ベッドの周りなど歩行の練習をします 初めの歩行練習後、ふらつきがなければ部屋の中を歩いてかまいません 赤ちゃんへの面会は車いすで移動します	母児同室が開始となります (体調に合わせ、赤ちゃんをお預かりすることも可能です)
*静脈血栓予防のために足の甲を膝側に曲げたり、足首を回したりする運動をしてください					
書類・物品・説明	母子手帳・入院証書をお預かりします ネームバンドをつけます 病棟内の配置など説明します 必要な方は主治医より説明があります		分娩セットをご用意します	産後の内服薬の説明をします (子宮収縮薬の内服や授乳、子宮のマッサージなどで子宮収縮は促進されます) 飲んだ水分量の計測用紙の説明をします	おしっこの量の測り方と記録について説明します 乳房ケアや授乳方法を説明します 母児同室について説明します 赤ちゃんの検査について説明します
観察・ケア	検温など、全身状態をみます 赤ちゃんの心拍をみます お腹の張りや破水の有無を確認します		検温など、全身状態をみます 子宮のマッサージをし、アイスノンをあてます 定期的に子宮の収縮状況と出血量をみます 創部の点検をします	検温など、全身状態をみます 定期的に子宮の収縮状況と出血量をみます 創部の点検をします 身体拭き、着替えを手伝います	赤ちゃんの面会に付き添います
		*お腹の張りが増強したり痛みを伴う、破水した感じがあるなど、気になる症状がある場合にはすぐにお伝えください		おしっこの管が抜けるまでパッドを交換します 母児同室開始や導入時のお手伝いをします 身体の状態により赤ちゃんのお世話をします	
赤ちゃん		出産後は… 赤ちゃんの全身の様子をみます お母さん・赤ちゃんともに状態が安定していればスキンシップのお手伝いをします	全身の状態が安定するまでGCUスタッフがお預かりします 赤ちゃんの身長や体重など計測します お預かりしている母子手帳にお産の状況や赤ちゃんのことを記入します 産まれて8時間以降に出血予防のため、ビタミンKのシロップを飲みます	毎朝、身体の計測をします 沐浴をします 小児科医が診察します	身体拭きをします 状態が安定していれば、お母さんのいる病棟に移ります
備考	出産手当金・育児一時金などの書類作成をご希望の方は退院前日までにお出し下さい 出生証明書は手術後5日目にお渡しする予定ですが、事前にご入用である場合には準備の都合上スタッフにあらかじめお伝え下さい				